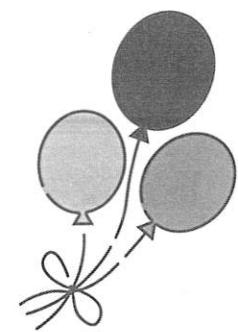


たんぽぽ通信 祝200号！

平成19年（2007年）2月に第1号を発行して以来、16年9か月継続しております。

毎月の行事予定・報告、各事業所からのお知らせなど王喜の郷の新聞として皆様に読んでいただいている。こんな記事があつたら良いな、こんなことを載せてほしいなどご意見があれば大歓迎です。

これからも皆様に楽しんでいただけるように職員一同頑張って参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



「生誕110年 林伊佐緒を語る」

林伊佐緒は昭和15年、東京で知り合った女性と結婚しました。媒酌人な作曲家の佐藤長助でした。残念ながら母、コヤは結婚式の直前に病気で他界、父正二も下関で倒れ身体は不自由な生活となり、結婚式には出席する事ができませんでした。

翌16年、長女が誕生しました。2年後の昭和18年、林伊佐緒は「もし自分が南方慰問中に子供が生まれたら、この3つの名前の中から命名して欲しい」と静江夫人に言い残し、慰問団として出発しました。そして、昭和18年2月に元気な長男が誕生し、林伊佐緒が言い残した3つの名前の中から「眞佐男」と命名しました。

昭和19年7月、日本の「絶対国防圏」と言わされたサイパン島がアメリカ軍により陥落、これによりサイパン島を拠点として本格的な日本本土爆撃が始まりました。林伊佐緒は妻や子供を新潟に疎開させ、自らは東京に残り軍や病院、工場の慰問を続けました。そして、レコード製造が戦況の悪化により難しくなる直前までレコーディングを続けました。

昭和19年12月、林伊佐緒がレコーディングした「空の偵察員」という曲のテスト盤が令和4年4月に東京都内の骨董市で発掘されました。キングレコードによるとレコーディングされた記録は残っているが一般発売された記録は残っておらず、今回のテスト盤の発掘により初めてレコーディングされた事実が確認されたとの事でした。当時、レコードの材料とレコード製造の燃料不足により一般発売まで行う事ができなかつたと思われます。しかし、戦争末期の昭和19年12月、まだレコーディングが行なわれていた事を証明する貴重な資料が発掘されたとNHKの全国ニュースにて報じられました。（次号へつづく）グループホーム 山根 徹

忘れじの歌／作曲家 古関裕而 名曲選／	日本人にエールと勇気を送り続けた、作曲家の古関裕而の名曲の数々をお届けします！
「長崎の鐘」「君の名は」「高原列車は行く」	日時 一〇月四日（ケアハウス王喜の郷・食堂）十三時三〇分～十五時 一〇月二十五日（王喜の郷ミントの家・食堂）十三時三〇分～十五時
「お問い合わせ」山根（ミント）中村（ケアハウス）	懐かしいあの時、あの時の思い出が鮮やかに よみがえるコンサートをお楽しみください！

~音楽と語りで繰るファンタジー~
GIFT FROM SHOWA

昭和レトロコンサート

たんぽぽ通信

10月1日発行 200号
ケアハウス王喜の郷 令和5年10月号

Webページ <http://www.ryokujuukai.jp>

巻頭言

9月からラグビーワールドカップが始まりました。4年前の開催地はここ日本、大盛り上がったのを覚えておられますか？今回の開催地はフランスです。プールAからDまで、計20か国が世界一を目指して戦います。日本の戦うプールDには強豪イングランドも。ラグビーの試合を見られたことがない方もおられるかと思います。ルールは、ボールを持って走り、相手陣に入れる=トライです。それぞれの国で特徴があり、迫力満点のチーム、スピード感のあるチームなど様々な試合を楽しんでくれます。ラグビーでは「ひとりはみんなのために、みんなはひとりのために」(One for all, all for one.)という言葉が有名です。一人の優秀な選手だけでは勝てない、個人はチームのためにどうするか、チームはトライをとるために一人一人をどう生かすか、これは日常生活でも頭に入れておきたい言葉ですね。

施設長 末谷千秋

〈お知らせ〉

10月のお誕生日＆行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 レトロコンサート	5	6	7
8 寒露	9 スポーツの日	10	11	12 イズミ行き	13 ピューティーヘルパー	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24 霜降	25 レトロコンサート	26	27 十三夜	28
29	30	31				

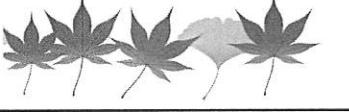
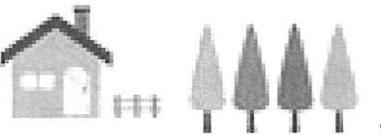
*誕生日：お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。

**ピューティーヘルパー：出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。

***イズミ行き：午後1時出発、2時半帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。（月に2回）

****レトロコンサート：午後1時半～3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。

☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のミントの家。同じ内容です。参加費300円

<p>ケアハウス王喜の郷</p> <p>空を見上げると入道雲からすじ雲へ。季節はゆっくりと移りつつあります。</p> <p>この夏、王喜の郷には甘く完熟したいちじく、豊作のブルーベリー。そのまま食べたり、ブルーベリーソースを作り、デザートやパイにと登場しました。青しそは香り良く大きく育ちました。もうじき新米の季節ですね。</p> <p>9月18日敬老の日には松花堂弁当、祝い膳を提供しました。色々な料理が利用者の皆さんのお口を楽しませた事でしょう。9月23日お彼岸のおはぎも美味しく食べられましたか？日本食は年中行事と密接な関わりと季節の移ろいの表現があります。</p> <p>厨房では、旬の食材を使った料理を大切にしています。改めて敬老の日を迎えられ、ご健康と長寿を心よりお祝い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">厨房 河本秀子</p>	<p>王喜の郷デイサービスセンター</p> <p>朝・夕は少しずつ涼しくなり、秋もいよいよ本格的になってきました。</p> <p>9月21日に今年度第2回目の王喜小学校4年生との交流会をリモートにて行いました。</p> <p>参加者の皆さんは、テレビ画面を見ながら「今日はどんな事をしてくれるんかねえ」と言われながら、開始を待たれています。開会の挨拶が終わり、自己紹介・絵本の読み聞かせ他に続き、「王喜ソーラン」の踊りでは、皆さん拍手喝采で、大変盛り上がりました。</p> <p>途中で、テレビの画像が乱れるハプニングがありましたが誰一人として帰られる方はおらず、最後に児童・参加者の皆さん全員で「故郷」を合唱し、大満足のうちに交流会は無事に終了しました。次回の交流会は12月の予定ですので、楽しみにお待ちください。</p> <p style="text-align: right;">介護職員 宮村秀子</p>	<p>グループホーム王喜の郷ライム</p> <p>グループホーム王喜の郷ライムが開設して1か月が経ちます。</p> <p>私は開設と同時に新入社員として勤務しております。今まで介護の仕事に携わってきましたが、グループホームでの勤務は初めてです。まだ、慣れていないこともあります。日々勉強の毎日です。入居者の皆様が不安なく、楽しく過ごせるようにお手伝いさせていただきたいと思います。</p> <p>私の目標は「一日一笑」一日を通して最低一回は笑いましょう！！笑うことは脳の活性化、血行促進、筋力アップ、幸福感などに繋がります。</p> <p>笑いの絶えないライムを目指して頑張っていきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: right;">介護職員 杜 真奈美</p>	<p>グループホーム王喜の郷</p> <p>お彼岸も過ぎ、さすがに朝夕と涼しく過ごしやすくなっていました。しかし、日中と夜間の寒暖の差が大きくなっています。なかなか着る衣類や寝具を選ぶのが難しい時季ではありますが、ご家族にご協力をいただきながら衣替えを行っていきたいと思います。</p> <p>また、秋は夏の猛暑の疲れが身体に出やすい季節と言われています。入居者お一人お一人の体調の変化に気をつけながら、入居者には充実した実り多い生活を送っていただけたらと思っています。</p> <p>秋桜や紅葉など秋を楽しむ事のできる季節になりました。ドライブなど外出して秋を感じていただける行事が企画できたらと思っています。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: right;">介護職員 山根 徹</p>
<p>王喜の郷住宅介護支援センター</p> <p>コロナ感染対策でオンラインでの研修や交流会が多くなりました。現在もオンラインでの継続はされていますが、以前よりは会場へ出向いて多くの方と対面での開催が増えて来ています。やはり人の顔を見て表情を観察しながら話をすると、楽しく言葉では伝わらない思いを感じることができます。</p> <p>介護では「生活の質」を高めていくことが大切です。家族や友人、地域とのつながりや余暇活動などにより生きがいや充実感を感じ、健康状態が良くなるよう、支援を考えなければいけないと思っています。</p> <p>皆様にお会いして、思いをしっかり聞き取り、安心して生活が送れるよう、情報提供を行い、医療・介護と連携を図っていきます。</p> <p style="text-align: right;">主任介護支援専門員 野平 千加子</p>	<p>王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか</p> <p>利用者の皆さんと近くで接しながら支援させていただいている。コミュニケーションをとりながら、時に冗談を交え、一緒に笑ったりしながらお話しさせていただいている。</p> <p>利用の方々に寄り添い、自立支援に努めてまいります。ご自分で出来ることが増えた時の喜びや達成感を感じていただけると、私たちも嬉しいです。</p> <p>現在の暮らしがリラックスできて過ごしやすい生活が送れますようお手伝いが出来たらと思います。</p> <p>何かありましたら、遠慮なくご相談下さい。よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"> </p> <p style="text-align: right;">サービス提供責任者 山田 朋子</p>	<p>王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷</p> <p>毎日、利用者の皆さんとラジオ体操、リズム体操に加え、上下肢の運動に取り組んでいます。上下肢の運動と言っても沢山ありますが、指の運動では... 掛け声に合わせ、『グー、チョキ、パー』 数を数えながら、指を折り曲げて開くなどを行っています。</p> <p>9月の中秋の名月に合わせて、お月見の壁紙作りを行いました。型紙に合わせて、ハサミを使ってうさぎの形に切って頂きました。「私は、指があまり動かないから...」とおっしゃる利用者さんも、ハサミを手渡すと、綺麗に切られ、日頃の体操の成果を感じられ、嬉しく思いました。</p> <p>毎日、継続して行うことが大切ですね。今後も体操や行事などに、力を入れていきます。</p> <p style="text-align: right;">介護職員 山田 淳美</p>	<p>放課後等デイサービス さくら</p> <p>さくらでは、9月21日に避難訓練を行いました。非常ベルが鳴るとみんな一斉に静かになり、「避難します！」の声かけにすぐに反応し、靴を履くのに少し時間がかかった子もいましたが訓練開始から3分で避難する事ができました。</p> <p>前回の訓練で不安定になり、なかなか動けなかった子が今回は気持ちをうまく切り替える事ができ、みんなと一緒にタイミングでスムーズに避難する様子を見てとても成長を感じました。</p> <p>1年の折返し地点となりました。子ども達の成長には日々驚くばかりです。子ども達がよりのびのびと成長できる環境を整えていきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: right;">さくら支援員 八木 真優</p>